

重い知的障がいあるいは行動障がいを呈する
方々に対する意思決定支援のあり方について
～具体的な実践事例を通して考えること～

宮下 智

☞意思決定支援の土壤 (参考:資料1)

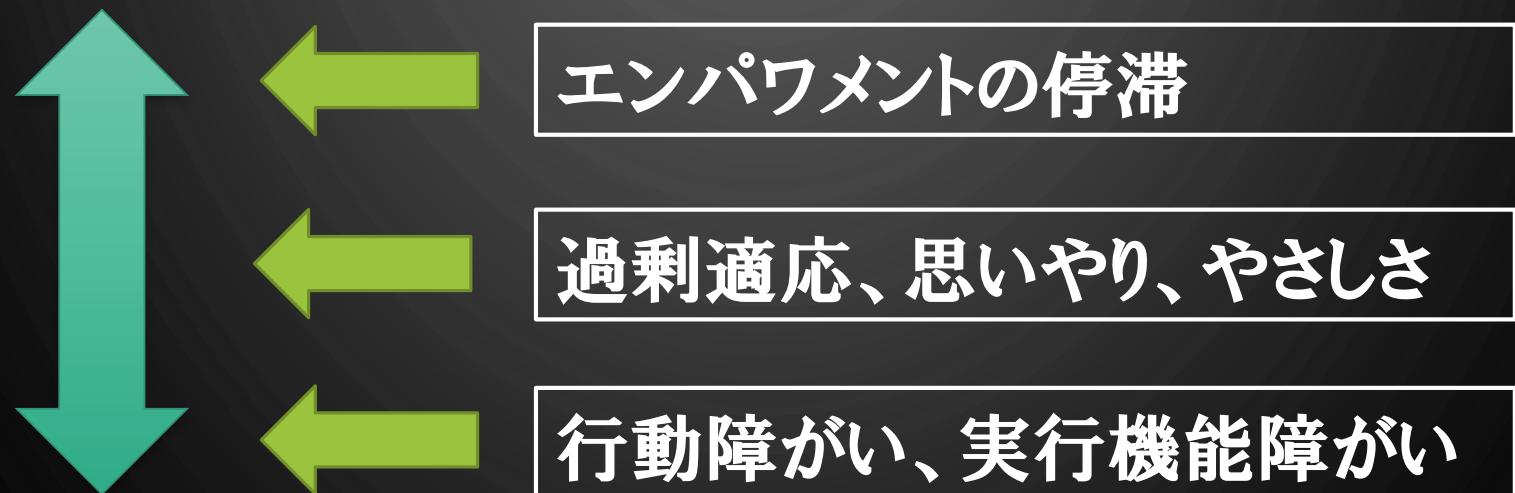
1. まず「相談をすること」、必ず「応答」があることを信じて。
2. 「意思表出行動」を決して否定しない。それは「自己表現行動」だから。
3. 「意思表出行動」を言語化することが「意思形成支援」である。
4. 問われているのは支援者の「意思受信能力」である。

『意思決定支援の段階』

1. 具体的な行動をともなうものの意思決定支援
 - ・食事、排泄、入浴等の有無、行事参加等の有無 etc.
2. 具体性のある物の意思決定支援
 - ・食事のメニュー、おやつの内容、身につける服 etc.
3. 表現された行動から推測される気持ちの同定支援
 - ・帰省したい、唐揚げが欲しい、髪を伸ばしたい etc.
4. 表現された行動から推測される抽象的な気持ちの同定支援
 - ・寂しい、怒っている、心配している、不安 etc.

『意思決定支援の勘どころ』

自己選択・自己決定であると思われている行動



気持ちとは裏腹な行動

● 気持ちとは裏腹な行動が生じる要因

エンパワメントの停滞

- ・経験主義（今までやって来たとおり…）

過剰適応・思いやり・やさしさ

- ・自分よりも人（両親・家族・職員…）のために

行動障がい・実行機能障がい

- ・一番困っている、止めたいと思っているのは本人
- ・止めなければと思えば思うほど繰り返される強迫反復行動

・ 気持ちは裏腹な身体①

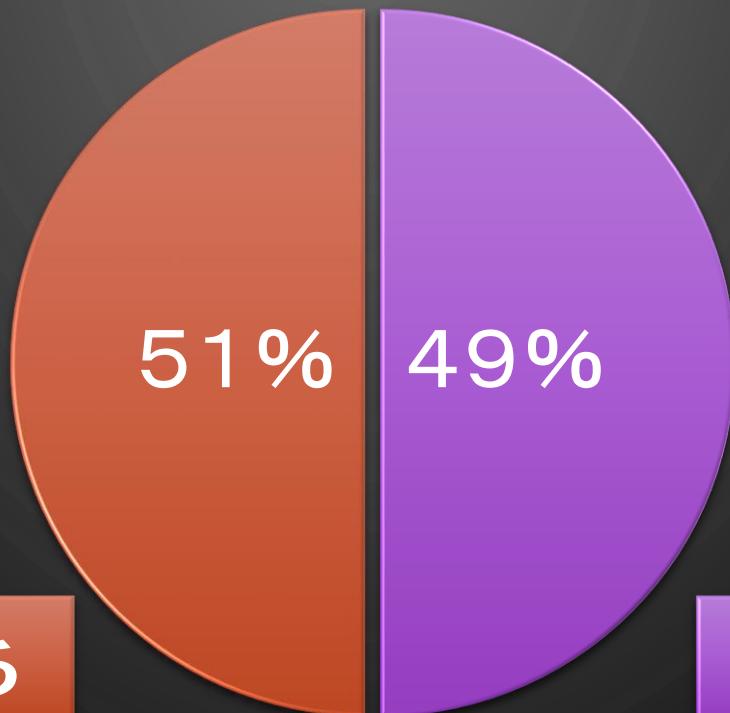
(参考:資料2)

非行動化

行動化

見えない気持ち

見える気持ち



心のなか

☞気持ちとは裏腹な身体②

- 心のなかで占める割合が高い気持ちが行動化されるとは限らない。
- している行動が、いつも楽しい、嬉しい行動とは限らない。
- 楽しいと感じられる行動も不本意な行動であることがある。
- “誰か止めてくれ”とSOSを伝えている行動がある。



See you again...

URL <http://homepage3.nifty.com/myojo-satoru/>

E-mail myojo-satoru@nifty.com